伊勢物語　芥川

〔　〕次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。　　【基礎問題】

　昔、男ありけり。女のえまじかりけるを、年経てよばひわたりけるを、からうじて盗みでて、いと暗きに来けり。といふ川率て行きければ、草の上に置きたりける露を、「かれは何ぞ。」となむ男に問ひける。行く先多く、夜更けにければ、鬼ある所とも知らで、神さへいといみじう鳴り、雨もいたう降りければ、あばらなる蔵に、女をば奥に押し入れて、男、弓・を負ひて戸口にをりはや夜も明けなむと思ひつつゐたりけるに、はや一口に食ひてけり。「あなや。」と言ひけれど、神鳴る騒ぎに、［　　　］聞かざりけりやうやう夜も明けゆくに、見れば、率てし女もなし。足ずりをして泣けどかひなし。

　　白玉か何ぞと人の問ひし時露と答へて消えなましものを

問一　二重傍線ａ～ｃの読みを現代仮名遣いで書きなさい。

問二　波線Ⅰ・Ⅱの「はや」の意味として最も適切なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

　　　①　もともと　　②　たちまち　　③　早く

問三　波線Ⅲ・Ⅳの意味をそれぞれ答えなさい。

問四　［　　　］に入る平仮名一字を、文中から抜き出しなさい。

問五　傍線部「消えなましものを」の口語訳として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

　　　①　消してしまうわけにはいかないのになあ。

　　　②　消えてしまったらよかったのになあ。

　　　③　消えてしまうはずだったのになあ。

年　　　組　　　番　　名前（　　　　　　　　　　　　　）

一 ａ［　　　　　　　　］　ｂ［　　　　　　　　］　ｃ［　　　　　　　　］

二 Ⅰ［　　　］　Ⅱ［　　　］

三 Ⅲ［　　　　　　　　　　　］　Ⅳ［　　　　　　　　　　　］

四［　　　］

五［　　　］